
スマブラメンバーがミニゲーム勝負をするようです

紀葉

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

スマブラメンバーがミニゲーム勝負をするようです

【Nコード】

N5565Y

【作者名】

紀葉

【あらすじ】

スマブラメンバーがマリオパーティ2のミニゲームで勝負をする！

※キャラ崩壊につきご注意ください。

ブログ的な何か(前書き)

D X以降のキャラは出ません。

プロローグ的な何か

ここはスマブラ館。

スマブラメンバーはここで暮らしている。

今いるのは64メンバー、いわゆる初代組である。

乱闘に飽きたのか、暇そうにしている。

マスター「暇だ。」

マリオ「地の文見ればわかる。」

リンク「なんかないのか？マスター。」

マスター「こっちが聞きたいよ…。」

カービィ「ダメな奴だな。」

ピカチュウ「創造神のクセに！」

マスター「ああんひどうい…。」

マリオ「あ、そうだ。」

ピカチュウ「なんかあるのか？マリオ。」

マリオ「マリオパーティしないか？スマブラメンバーで。」

リンク「おお、いいなそれ。」

カービィ「ナイスアイデア！さすがマリオ！」

マスター「それはダメだ。」

4人「!?!」

マスター「長くなるから。」

カービィ「じゃあどうしろと？」

マスター「ミニゲーム勝負ならok。」

マリオ「なるほど。」

リンク「よし、じゃあみんなを呼んでくる。」

数分後。

マスター「よく来たな！」

ドンキー「マリパのミニゲームで勝負するんだよね？」

ヨッシー「どうせマリオさんの1人勝ちですよ。」

ルイーダ「いやどうかな？運にもy」

ヨッシー「ハア？」

ルイーダ「…ごめんなんでもない。」

サマス「ていうかマリパって4人用のゲームって聞いたんだけど。」

フォックス「そういえば…12人いるけどどうするんだ?」

マスター「3人1チームにするから大丈夫。」

プリン「チーム戦かぁ…楽しそう♪」

ネス「チームはどうやって決めるの?」

ファルコン「ハハハ、確かな☆」

マスター「もう作者が決めたらしい。」

12人「!?!」

マスター「じゃあチーム発表。」

Aチーム

マリオ

カービィ

ピカチュウ

Bチーム

ドンキー

リンク

フォックス

Cチーム

ヨッシー

サマス
プリン

Dチーム
ルイージ
ネス
ファルコン

マスター「以上！」

マリオ「カービィとピカチュウか、頑張ろうぜ！」

カービィ「マリオがチームメイトかあ…頼もしいなあ！」

ピカチュウ「オレがいることも忘れるなよ！」

ドンキー「まあ気楽に行こうぜ。」

リンク「これどういう人選なんだ…。」

フォックス「さあ…。」

ヨッシー「とりあえず2位にはなれるようにしましょう。」

サマス「消極的ね。」

プリン「どうせなら1位目指そー！」

ルイージ「…うん、頑張ろう。2人共。」

ネス「なんか不安だなあ…。」

ファルコン「ハハハハ☆」

マスター「それじゃあ行くぞ！」

全員「オォー！」

ブログ的な何か（後書き）

カービー「そういえば賞品とかあるの？」
マスター「考えておく。あまり期待するなよ。」

キャラ紹介（前書き）

壊れすぎた。マジで。

キャラ紹介

マリオ

言わずと知れたスーパースター。男。
勇敢でカッコいい。まさにヒーロー。
なんでもできちゃう超人的な人。

ドンキーコング

ジャングルの王者なゴリラ。男。
馬鹿だけど仲間想いの良い奴。
ちなみに作者の1番のお気に入り。

リンク

ハイラルの勇者。男。
真面目。とりあえず真面目。
メンバー屈指の常識人。

サ姆斯・アラン

バウンティハンター。女。
クールな姉御タイプ。根は優しい。
可愛いものが好きだったりする。

ヨッシー

マリオの相棒の恐竜。男。
礼儀正しいように見えてかなり腹黒い。
マリオを超尊敬している。

カービィ

星の戦士。男。

子供っぽくはない。ちょっと毒舌。

ヨッシーほどじゃないがマリオを尊敬している。

フォックス・マクラウド

スターフォックスのリーダー。男。

真面目だが、お金にかなり厳しい。

実際作者が1番よくわからんキャラ。

ピカチュウ

ねずみポケモン。男。

なんか不良っぽい。口が悪い。

触るとビリビリするので注意。

ルイージ

マリオの弟。男。

兄と違って臆病。だから2番手なんだよ。
かなり地味。存在に気づかれないことも。

プリン

ふうせんポケモン。女。

ほわほわしてるドジっ子。ちょっと天然。
寝る時に近くにいと危険。

キャプテン・ファルコン

F-ZEROレーサー。男。

熱血。とにかく暑苦しい。
しゃべり方が若干うざい。

ネス

P S Iを持つ少年。男。

まっすぐな性格。芯が強い。

P S Iをちゃんと有効活用してる。

マスターハンド

スマブラの世界の創造神。性別不明。

自由人。暇だと騒ぐ日が多い。

見た目は右軍手。

キャラ紹介（後書き）

次から本編です。

始まりますた(前書き)

ドンキー「細かいルールはどうなってるんだ？」
マスター「よしわかった。説明しよう。」

始まりますた

細かいルール

- ・ 1つのミニゲームに1人が出場する。
- ・ 出場する順番は

1

マリオ、ドンキー、ヨッシー、ルイージ

2

カービィ、リンク、サムス、ファルコン

3

ピカチュウ、フォックス、プリン、ネス

4 回目以降は繰り返し。

・ マリパ2のミニゲームをすべてやり、勝った回数が多いチームが勝ち。

マスター「わかったか？」

ドンキー「質問、なんでマリパ2なんだ？」

マスター「作者が好きだからだ。」

ドンキー「把握。」

ヨッシー「質問、2対2とかの時チームはどうやって決めるんですか？」

マスター「作者が適当に決める。」

ヨッシー「さいですか。」

マスター「もう質問ないな？じゃあさっそく最初のミニゲームだ！」

パンチでアタック（4人用）

ドンカクの上で戦い、相手を全員落とせば勝ち。

マリオ「よし、やってやるぜ！」

ドンキー「やるしかないな…。」

ヨッシー「ボチボチ行きますか。」

ルイージ「勝てるわけないよ…。」

START！

ヨッシー「おらあああ！」

ヨッシーがドンキーにパンチを繰り返した！

ドンキー「うわっ！」

間一髪避けるドンキー。

ドンキー「なんで俺狙うんだ！」

ヨッシー「マリオさんには勝てないですし、ルイージさんはどうせすぐ倒せます。ならドンキーさんを狙うしかないじゃないですか。」

ドンキー「ならこっちからも行くぞ！うおおおお！」

ヨッシー「うおおお！」

一方、置いてけぼりの2人は…。

ルイージ「…。」ズーン

マリオ「ルイージ、戦おうぜ。」

ルイージ「ヨッシーに雑魚扱いされた…悲しい…。」

マリオ「…ルイージ」

そのとき、ドンカクが動いた！

ルイージは動かなかったため、落ちてしまった！

ルイージ「アッー！！」

マリオ「ルイージエ…。」

一方、戦っている2人は…。

ドンキー「フタエノキワミ、アッー！」

ドゴオッー！！

ヨッシー「ひでぶっ！！」

ドンキーのパンチがヨッシーにクリーンヒット！
そのままヨッシーは落ちてしまった！

ヨッシー「あづあああ!!」

ドンキー「…あ! マリオが残っちゃった…。」

マリオ「…来い!」

ドンキー「う…うおおお!」

ドンキーはマリオに向かって突進した!

マリオ「おっと。」

マリオは避けた。

ドンキー「あ。」

勢い余ってドンキーは飛び出した。
そして落ちた。

ドンキー「ぬわーっ!!」

FINISH!
MARIO WON!

マリオ「やったぜ!」

ピカチュウ「さすがマリオだな。」

カービィ「そこに痺れる! 憧れるう!」

マスター「Aチーム1勝目だな。よし、次のミニゲームだ!」

なわなわピョンピョン（4人用）

1列に連なったボブルで縄跳びをする。ボブルに当たるとリタイア。最後まで残れば勝ち。

カービィ「マリオに続くぞ!」

リンク「できるかな…?」

サムス「簡単そうね。」（ちなみにゼロスーツ姿。）

ファルコン「ハハハ☆」

START!

全員跳び始めた。
すると3回目で早くも!

ジュッ

ファルコン「ハー!?!」

ファルコン以外「早っ!」

その後、20回ぐらいの時に…。

ジュッ

カービー「熱ううう！」

カービーリタイア。

リンクとサムスの一騎打ちとなった。

リンク（そろそろキツイ…。）

サムス（まだ余裕ね。）

そして30回目で！

ジュッ

リンク「なあああ！」

FINISH！

SAMUS WON！

サムス「だらしないわね…。」

プリン「サムスかっこいい！」

ヨッシー「やりますね…。」

マスター「Cチーム1勝目。よし、次行くぞ！」

ドッカンせんしゃ（4人用）

戦車に乗り、大砲で弾を撃ち、相手に当てる。体力は2。全員倒せば勝ち。ちなみに土管の数は1個。

ピカチュウ「オレの力を見せてやる！」

フォックス「負けられないな……！」

プリン「頑張るよ！」

ネス「緊張するなあ……。」

START!

フォックス「とりゃ！」

フォックスはネスに弾を撃った！

ネス「ぐふう！」

クリーンヒット！

ネス「やったな！」

ネスも弾を撃った！

フォックス「おっと！」

フォックスはギリギリ避けた。

プリン「えい！」

プリンも弾をフォックスに撃った！

フォックス「そおい！」

フォックスは避けながらプリンに弾を撃った！

プリン「キャッ！？」

もろにくらった。

ピカチュウ「おらあ！」

ピカチュウも撃った。もちろん標的はフォックス。

フォックス「当たらなければどうということはない！」

と言いながら、避けながら、撃った。

ピカチュウ「そげぶう！」

やっぱり当たり。

その後、なんやかんやあって…。

全員「省略すんな！」

サーセンW

最後にはフォックスが残った。

FINISH！

FOX WON！

フォックス「よっしゃあ！」

ドンキー「すげー！」

リンク「スターフォックスのリーダーなだけあるな…。」

マスター「Bチーム1勝目。よし、次だー！」

始まりますた（後書き）

一発ネタコーナー。

マリオ「あなたも私も☆NEET☆」

※マリオワールドのタイトル曲（の空耳）です。

運ゲー多し（前書き）

運ゲーに近いものが今回多いです。

運ゲー多し

5キノピオブロック（4人用）

回転するブロックを止めて、キノピオを出す。先に5回出せば勝ち。
また、キノピオ以外を出すとタイムロス。

マリオ「これ運だからな…。」

ドンキー「ミスしないようにしないと…。」

ヨッシー「勝機はある…！」

ルイージ「うーん…。」

START！

マリオ「てやっ！」

ドンキー「おらあ！」

ヨッシー「よいしょお！」

ルイージ「ホワチャア！」

全員同時に押した。

全員キノピオだった。

全員「そおい！」

全員キノピオ。

全員「おりゃあ！」

また全員キノピオ。

マリオ「でやあ！」

ドンキー「ぬああ！」

ヨッシー「うえい！」

ルイージ「とぉーっ！」

ルイージ以外はキノピオ。
ルイージはミニクッパ。

ルイージ「ぐはあっ！」

マリオ「ちょW」

ドンキー「おまWW」

ヨッシー「だせえWWW」

ルイージ「（´；ω；、）」

ルイージ戦意喪失。

マリオ「んゝんゝんゝ！」

ドンキー「そいやあー！」

ヨッシー「どっこいしょおお！」

マリオ、パックン。

ドンキー、ワンワン。

ヨッシー、キノピオ。

マリオ「んはあ!？」

ドンキー「おおう!？」

ヨッシー「（。㇏。）カテチャッタ…。」

FINISH!

YOSHI WON!

ヨッシー「頭がパーン☆となりました。もうホントビックリした！」

サムス「すごいわね…。」

プリン「ばんざーい♪」

マスター「こっから数えないようにしよう。はい次。」

ぜんまいヘイホーレース（4人用）

ぜんまいヘイホーのぜんまいを10秒間巻き、遠くに飛ばす。1番遠くに飛ばした人の勝ち。

カービィ「絶対勝つ！」

リンク「今度こそ…！」

サムス「連勝してやるわ。」

ファルコン「ハハハハハ☆」

START！

一斉に巻き始めた。

カービィ「ちゃああああ！」

リンク「エアアアア！」

サムス「はああああ！」

ファルコン「GAY♂BAAAAA！」

10秒たった。

カービィ「行けえ！」

リンク「飛べ！」

サムス「行きなさい！」

ファルコン「ゴー！」

ヘイホーが飛んだ。

20 m地点で…。

ポトツ

サムス「ああ!？」

サムスのが落ちた。

続いて25 m地点で…。

ポトツ

ファルコン「オーマイガッ！」

ファルコンのも落ちた。

カービィ「もっと熱くなれよおお！」

リンク「飛べえええ！飛ぶんだああああ！」

そして、30 m地点で…。

ポトツ

リンク「…（。D。）」

リンクのが落ちた。

カービィのはまだ飛び続けている。

カービィ「まだ行ける…まだ行けるぞ…！」

ポトツ

落ちたのは53m地点。

FINISH!

NEW RECORD!

KIRBY WON!

カービー「イエエエイ!」

マリオ「すごいな…新記録なんて…。」

ピカチュウ「テラチートWWW」

マスター「Dチームもっと頑張れよー。次行ってみよー。」

カウント1・2・3（4人用）

ステージのキャラクターを数える。ピッタリ数を当てた人が勝ち。
今回のキャラクターはキノピオ。

ピカチュウ「楽勝だろ。」

フォックス「簡単そうだなあ。」

プリン「数え間違えちゃいそう…。」

ネス「余裕だね!」

START!

ピカチュウ「123…ん？あれはキノコか…。」

フォックス「1234…あれ？1回数えたか？」

プリン「123…あ、あれ？えっ？」

ネス「12345…。」

ピカチュウ、フォックス、プリンはてこずっているが、ネスは余裕そうだ。

そして制限時間が過ぎた。

ピカチュウ…16

フォックス…17

プリン…14

ネス…19

正解は…
19！

FINISH！
NESS WON！

ネス「やったあああ！」

ルイージ「やっと勝てた…。」

ファルコン「やったな☆」

マスター「やっと1勝目だぞ、Dチーム。次行くぜ！」

のぼってマスト（4人用）

沈みそうな船のマストをのぼり、1番最初にマストのてっぺんに着いた人の勝ち。

マリオ「ちょっと不安だな…。」

ドンキー「これ得意だぜ！」

ヨッシー「これ苦手なんですよね…。」

ルイージ「どうせ僕は負けるんだろうな…。」

START!

全員のぼり始めた。

ドンキー「〜♪」

余裕なドンキー。

ヨッシー「ぬぬぬぬ…！」

対照的に、ヨッシーはてこずっている。
と、ここに！

バシャーン！

マリオ「うわっ！」

ドンキー「おっと。」

ヨッシー「ギャッ！」

ルイージ「あべしっ！」

ドンキーは避けたが、ドンキー以外にプクプクが当たった。
そのままドンキーがスイスイのぼっていき、てっぺんに着いた。

FINISH!

DONKEY WON!

ドンキー「よしっ！」

リンク「早かったな…。」

フォックス「さすが猿ってところか…。」

マスター「得意分野はやりやすいよな。次だぜ！」

運ゲー多し（後書き）

一発ネタコーナー。

ドンキー「デユクシ
WWWW
アイテテ
WWWW
」

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n5565y/>

スマブラメンバーがミニゲーム勝負をするようです

2011年11月18日06時51分発行